

異業種連携による雪室ブランド「越後雪室屋」 ～にいがた雪室ブランド事業協同組合（新潟市）～

本号では、新潟県における雪室ブランド「越後雪室屋」を展開するために組合を立ち上げ、組合員の商品に付加価値をもたらすことで組合員の収益拡大に結びつけている「にいがた雪室ブランド事業協同組合(理事長 佐藤健之)」をご紹介します。

異業種による組合で、独自のブランドをゼロから育み、成熟させた組合概要を次のとおり纏めましたので是非ご覧ください。

雪室は、冬に降った雪を蓄え食品を保存する施設であり、雪の冷氣と水分によって室内は温度0℃、湿度100%に近い一定した環境が保たれるのが特徴です。

冬に降った雪を利用した天然の冷蔵庫で貯蔵された食品は、最適な温度・湿度で鮮度を保ち、熟成して味を向上させる効果があると考えられていました。



【新潟県の雪室】

発起人である佐藤理事長の「新潟県の特性を生かした雪室商品に付加価値とロマンを付けて販売したい」との強い想いにより、平成24年、雪室貯蔵食品を扱う新潟県の食品メーカーが集まり「にいがた雪室ブランド事業協同組合」が設立されました。

それまで各社が独自に展開していた雪室貯蔵食品を組合ブランド「越後雪室屋」として、統一パッケージを用いて販売することで売上を大きく伸ばすことに成功しました。



【越後雪室屋のブランドロゴ】

雪室で一定期間冷蔵保存することで、食品の熟成効果により糖度や旨味が増すことが科学的に実証されたことが追い風となり、展示会や商談会への出展を契機にメディアに多数

取り上げられ、県内外からの引き合いが瞬く間に加速しました。

1社では多額の費用がかかる宣伝事業を組合員が分担することでコストを下げ、組合ブランドとして展開することでブランド商品のラインナップを豊富に取り揃えることができました。

雪室ブランド商品は、現在では80種類を超えるまで成長し、数多くのコラボ商品も誕生しています。

「越後雪室屋」の売上は、初年度が8千万円、2年目が1億5千万円、3年目は2億円と堅調に推移しております。



【越後雪室屋の商品群】

当組合の特徴に、流通業者、販社、デザイナー、公的機関等を賛助会員に組み込んだことで、製造からデザイン、販売までを組合内で実現可能とするメンバー構成にあります。

また、ブランドの取扱いに精通するデザイン会社が事務局を務めたことで、統一パッケージ制作やブランド管理をしっかりと行える体制を設立時から構築できたことも現在までの雪室ブランドの発展に繋がっており、組合の今後の更なる展開に期待されます。

【にいがた雪室ブランド事業協同組合】

- 代表者名 理事長 佐藤 健之
- 所在地 新潟市中央区女池神明3-4-9
- 設立 平成24年1月
- 会員数 25名(平成29年3月現在)